

ありがとう

総社中央小学校だより



No15
令和6年1月16日
校長 藤本千登世

よい年になりますように



1月9日より3学期が始まりました。今年は、大空を悠々と駆ける辰の年。辰年は成長の年・運が開ける年ともいわれています。子ども達が3学期も夢や目標に向かって努力を続け、成長することを願っています。そして、「子どもは教師の鏡」ですから、教職員も夢や目標に向かい挑戦する姿や努力する姿を見せていきたいと思っています。

3学期もご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

1月11日に、地域の方の協力を得て「とんど焼き」をしました。お飾りや書き初めの練習用紙等を



燃やし、「今年1年の健康」や「字の上達」を願いました。昔から伝わる日本の伝統行事を経験するとともに、それを大切にしてい



く心も養っていききたいと思います。

3学期も「Let's try! 中央!」

「ごみ拾いは ○○拾い」～朝礼の話より～



(アメリカメジャーリーグのドジャースに入団した大谷翔平選手がグラウンドのごみ拾いをしている写真を見せ、説明した後の話です。)

問題です。大谷選手は高校生の時、野球部の監督から「ゴミ拾いは、○○拾い」と教わりました。○○には、何という言葉が入るのでしょうか。正解は「運」です。だから、大谷選手は「**ゴミを拾うことは、人が捨てた運を拾うこと、よい運をもらうことになる**」と言っています。そして、野球場だけでなく、学校や自分の生活している場所などで、人が見ていようがなかろうが、当たり前のように落ちているごみをずっと拾い続けているのです。スペインの新聞には、「**大谷翔平、ゴミ拾いで日本人の礼儀を示す**」と書かれていました。大谷選手は、「運拾い」と思い、挨拶や言葉遣い、掃除、ゴミ拾いなども当たり前のようにずっと続けていたそうです。どれも「礼儀」ですね。大谷選手は、野球の実力だけでなく、礼儀や思いやり、感謝なども大切にしている、素晴らしい人間性の持ち主なのです。

「礼儀」とは、相手を大切にする気持ちが現れたものですが、みなさん、やさしさや思いやりの気持ちをもって、①挨拶 ②名前の呼び方 ③言葉遣い ④ゴミ拾いや後片付けができていようでしょうか？大谷選手のように、礼儀正しく、「よい運をもらうこと」を頑張っていきましょう。それが「助け合う子」。やさしさや思いやりにつながります。



「善行少年」受賞おめでとうございます

12月8日に、6年安井友花さんが総社警察署の「善行少年」を受賞しました。色々な長として常に誠実に、責任ある行動をとっています。あらゆる場面で見せる、誰にでも優しく公平に接する姿は、全校児童の模範となっています。また、絵画や書道、ピアノ演奏等に粘り強く取り組み、ポスターコンクール等では何度も入賞するなど、実力を発揮しています。

ラグビーオリンピック選手来校! 「目標は高く 夢はでかく」

「東京オリンピック目指してみない?」



12月19日、アスリート派遣事業で、2021年東京オリンピック、ラグビー7人制日本代表の白子未祐選手が本校に来て、6年生に授業をしてくださいました。講話では、「ラグビーの競技歴はわずか2年でもオリンピックに出られた。みんなもオリンピックを目指すことができる。

『目標は高く 夢はでかく』。スポーツだけでなく、自分の好きなことなら何でもよいので、夢や目標をもと

う。」という言葉が心に響きました。

実技では、タグラグビーを教えていただき、児童は思い切り楽しみました。男女関係なく本気で楽しく取り組むことができるのは、6年生のよいところです。ラグビーの楽しさや夢を持つことの大切さを感じることができた貴重な体験でした。



国際交流学習をしました(6年)



6年生は社会科でこれから「つながりの深い国々の暮らし」の学習を始めます。そこで、1月12日に吉備国際大学の留学生を招いて、6年生とアルコイリス学級が国際交流学習を実施しました。今回は、中国、カンボジア、ベトナム、インドネシア、スリランカの留学生11名を招いての学習でした。それぞれの国の文化や生活習慣、日本とのつながりなどについて教えて

いただきました。留学生は日本語が堪能であり、6年生は積極的に質問をしながら楽しそうに交流することができました。

また、アルコイリス学級の児童は、母国語などでの会話を楽しんだ後、剣玉・こま・だるま落とし・お手玉をやってみせたり、一緒に体験したりしながら交流を楽しみました。

異文化を理解し多様性を認めることのできる人になってほしいと願っています。



これからも色々な立場の方との触れ合いや体験活動を大切にしていきます!